

第5回奈良市学校規模適正化検討委員会会議録

■ 日 時 平成20年（2008年）2月5日（火）18:00～19:30

■ 場 所 市役所 中央棟6階 第2研修室

■ 委員名簿 奈良市学校規模適正化検討委員会委員（18名）（敬称略、50音順）

	池田 慎久	（保護者代表・奈良市PTA連合会中高校部会部長）
	上野 ひろ美	（学識経験者・奈良教育大学教授）
	岡田 博義	（保護者代表・奈良市PTA連合会会長）
	小柳 和喜雄	（学識経験者・奈良教育大学准教授）
	上谷 嘉澄	（行政代表・保健福祉部長）
	川井 洋子	（学校代表・奈良市立幼稚園長会会長）
	衣田 智恵美	（保護者代表・奈良市PTA連合会小学校部会部長）
副会長	酒井 重治	（学校代表・奈良市立学校園長会会長）
	坂本 征美	（学校代表・奈良市立中学校長会会長）
会 長	重松 敬一	（学識経験者・奈良教育大学副学長）
	田中 幹夫	（弁護士・奈良市顧問弁護士）
	津山 恭之	（行政代表・政策監）
	戸田 勝康	（行政代表・総務部長）
	中室 雄俊	（行政代表・教育総務部長）
	林 啓文	（行政代表・市民生活部長）
	八尾坂 修	（学識経験者・九州大学大学院教授）
	山岡 莊平	（学校代表・奈良市立小学校長会会長）
	吉岡 正志	（地域代表・奈良市自治連合会会長）

■ 出席者 委員 15名（欠席：重松委員、戸田委員、八尾坂委員）
事務局 11名（教育総務部次長、教育総務部参事
学務課長、学校教育課長、教育企画課長
教育企画課職員6名）

- 議 事
1. 開会
 2. 議事
 - (1) 「実施方針」の変更部分について
 - (2) 「認定こども園」について
 - (3) 「中学校区別実施計画（案）」について
 - (4) 今後のスケジュールについて
 3. 閉会



□ 副会長

- ・ただ今から、第5回学校規模適正化検討委員会を開催させていただきます。
- ・本日、重松会長が欠席されておりますので、「奈良市学校規模適正化検討委員会設置要綱」第5条第4項の規定の規定により、会長に代わって議事を進行させていただきます。
- ・まず事務局から、昨年12月に開催しました第4回検討委員会以降の変更状況及び本日の進行について説明をお願いいたします。

□ 事務局

- ・当検討委員会は原則公開としておりますが、まだ案の段階であり、意思形成過程といえる部分につきましては非公開とさせていただきます。
- ・なお本日、公開の部分につきましては、新聞社の取材が入っていることをご承知おきいただきたいと思っております。
- ・「奈良市学校規模適正化実施方針」につきましては、1月定例教育委員会において決定されました。第4回検討委員会において検討していただいた後に、事務局の方で調整させていただいた部分がありますので、後ほどご説明させていただきます。
- ・「認定こども園」制度の導入につきましては、保育課との調整の上、概ねの方向性が固まってまいりましたが、基本構想の案の段階でありますので、非公開で報告させていただきたいと思っております。
- ・「中学校区別実施計画（案）」につきましても、少々変更させていただいた部分がありますので、これにつきましてもまだ案の段階でありますので、非公開でご意見をいただきたいと思っております。

□ 副会長

- ・最初に、進行について確認しておきたいと思っております。「認定こども園」と「中学校区別実施計画（案）」について検討いただく部分につきましては、まだ案の段階でありますので、『「学校規模適正化検討委員会」の設置及び運営に関する要領』第4条第1項、及び『「学校規模適正化検討委員会」の公開に関する実施要項』第2条に基づきまして非公開としたいと思っております。ご承認いただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

———— 出席委員全員「異議なし」 ————

- ・「異議なし」の声をいただきましたので、一部非公開で進めさせていただきたいと思っております。
- ・それでは、「実施方針」について事務局から説明をお願いします。

■ 「実施方針」の変更部分について

□ 事務局

- ・「実施方針」につきまして、第4回検討委員会の後、文言の変更点が4点ほどございます。

———— 資 料 説 明 ————

□ 副会長

- ・ご説明いただいた「実施方針」の変更部分について、ご意見やご質問はございませんか。

■「認定こども園」及び「中学校区別実施計画（案）」について

□ 副会長

- ・「認定こども園」について事務局から説明いただきますが、先ほど申し上げましたとおり、ここからは非公開とさせていただきます。

~~~~~ 非 公 開 ~~~~~

■今後のスケジュールについて

□ 副会長

- ・今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

□ 事務局

- ・ただ今、最終の中学校区別の計画につきまして、細かい調整をしており、それをまとめまして2月15日開催の産業文教委員会で報告させていただきます。その後、「中学校区別実施計画（案）」で「前期」に計画されている学校・園につきまして、「推進協議会」の設置をお願いしていきたいと考えております。
- ・来年度以降の「学校規模適正化検討委員会」につきましては、学期ごとに1回程度開催させていただき、進捗状況の報告やご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。

□ 副会長

- ・今後のスケジュールについて説明いただきましたが、何かご質問ございませんか。

□ A委員

- ・「認定こども園」についてですが、報告のとおり、既存の施設を活用すること、また市立園を対象としていることから、難しくはないと思います。
- ・幼稚園と保育園の先生方にシミュレーションか何かでイメージを作らないと、ものすごく難しいと思います。国がいうとおりのものを作る必要はなくて、奈良市独自のものを作ればいいので、前向きに考えればよいと思います。例えば、保育所に籍をおく、幼稚園に籍をおく、短時間保育・長時間保育など、配慮すべきことが多いので、そこをシミュレーションしないと、いきなり保護者へ説明するのは難しいと思います。
- ・「前期」に計画されている学校・保護者・地域等への説明の中に、「幼稚園・保育園関係者への説明とシミュレーション作業を行う」ということをはっきり挙げた方がいいと思います。

□ 事務局

- ・「認定こども園」につきましては、詰めていかなければならない部分がありますので、引き続き保育課と教育委員会で調整しながら、さらに現場の幼稚園・保育園関係者も含めて検討し、準備を進めていきたいと考えております。

- ・保護者等への説明については、わかりやすい資料を基に、ご理解を得ながら進めていきたいと思います。

□ B委員

- ・小規模校・過小規模校についての問題もわかるのですが、大規模校に通う児童の保護者から切実な訴えがありました。三碓小学校区内では大規模なマンションが建ってきており、今でも教室が狭いのに今後どうなっていくのかという不安の声です。大規模校の学習環境についても考えていただきたい。

□ 事務局

- ・早期に適正化が必要な大規模校につきましては、当面は校区の見直し・再編ということで適正化を図っていきますが、実態がそれに合わない場合には、適正化検討委員会でいただいたご意見を参考にしながら新たな案を示していきたいと考えております。

□ 副会長

- ・他にご意見ございませんか。

□ C委員

- ・スケジュールというのは、誰が・いつ・どこで・何をするかというのがはっきりしていなければならないと思います。どの部署が、誰に、どうやっていくのか具体的に示していただきたい。

□ 事務局

- ・今後、「奈良市学校規模適正化・認定こども園庁内推進会議」を設置し、教育委員会だけでなく、他の部局と連携して取り組んでいきたいと考えております。
- ・学校規模適正化の推進については、今後「実施方針」に基づく「地域別実施計画」を策定していきますので、その推進を図るため、関係部局の部長級職員で構成する「推進会議」をもち、また、実行部隊として関係課長級職員で委員会を組織しまして、具体的な中身について検討していきたいと考えております。
- ・新たな学校や「認定こども園」の運営・管理に関することや、教員・職員の配置計画に関すること、統合・再編に伴う費用などを含めて、各担当部局で役割を持ちながらタイムスケジュールを作って進めていけるよう計画していきたいと考えております。
- ・具体的にはお示しできませんが、最終の調整を行っておりますので、2月後半から順次「この時期に、この地域に。」というかたちでご説明できるようにしたいと考えております。

□ A委員

- ・実情がわかるがゆえに申し上げますが、地域説明・保護者説明となってくると、当該の園でなくてもいいので、幼稚園・保育園のわかる方が入った作業部会のもとに動かなければ混乱すると予測します。
- ・当事者たちがどのくらい率直におっしゃるかがわかりませんので、少し幼稚園・保育園の方々が主体的に「こういうことが心配だ」、「こういうことをこう変えたい」ということを引き出せるような組織をお作りになることを強くお勧めします。

□ 副会長

- ・地域の方々の思いもあると思いますが、「子どもたちにとって何が一番大切か」という視点を大切にして進めていただきたいと思います。
- ・事務局から、何かございませんか。

□ 事務局

- ・「中学校区別実施計画（案）」等がまとまりましたら委員の皆様のお手元に送付させていただきますのでご了承いただきたいと思います。

□ 副会長

- ・十分皆さんの意見を出していただけたでしょうか。他に何かご意見があるようでしたらお願いします。
- ・公私ともお忙しいなか、検討委員会にお時間を割いていただきまして、ありがとうございました。本年度の検討委員会は今回で最後となりますが、今後、学校規模適正化が実現できますようにそれぞれのお立場でバックアップしていただければと思います。
- ・それでは、第5回適正化検討委員会をこれで閉会したいと思います。どうもありがとうございました。
- ・進行を事務局へお返しいたします。

□ 教育企画課長

- ・最後に事務局から一言御礼を申し上げます。委員の皆様には昨年7月20日開催の第1回検討委員会から本日までの約半年間ご検討いただき、貴重なご意見をいただきましたことにつきまして感謝申し上げます。また、ここに「実施方針」としてまとめることができましたことにつきましても厚く御礼を申し上げます。私どもといたしましては、子どもたちが効果的な教育を受けられるような環境を整えるため、学校・家庭・地域のご理解とご協力を得ながら学校規模の適正化を進めてまいりたいと思っております。今後とも委員各位のご助言・ご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。最後になりましたが、会長の重松委員・副会長の酒井委員をはじめ、委員の皆様にご改めまして御礼を申し上げます。ありがとうございました。